

ウトナイ湖通信



No.251

2025 年4月号



4月、ウトナイ湖の春を彩る花々が咲き始めます。キタコブシもそのひとつ。葉の展開前に、径約 12cm の白い花が咲きます。鳥獣保護センターのすぐ近くでも見ることができるので、ぜひ探してみてください。

ウトナイ湖は、周囲約 9km、面積約 275ha、平均水深約 0.6m の淡水湖です。鳥類はこれまでに約 270 種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。

4月のイベント情報

お気軽ガイドウォーク in ウトナイ湖

4月13日(日)10:30~11:30
レンジャーや当センターのボランティアが40分程、屋外でウトナイ湖の自然を案内します。
※荒天時は館内ガイドウォークに変更します。

- 定員:10名程度
- 申込:不要。直接当センターへ。
- 対象:どなたでも
(小学生以下保護者同伴)



第1回 野生動物に学ぶ救護セミナー 知っているようで知らない カラスの話

4月26日(土)10:00~12:00
札幌カラス研究会代表理事の中村眞樹子さんより、カラスの生態や正しい付き合い方などを学びます。

- 定員:30名 申込先着順
- 申込:4/1~4/25の開館時間に当センターへ電話
- 対象:どなたでも
(小学生以下保護者同伴)



☆速報☆G.W.イベント情報

作って楽しい!

ウトナイ湖の生きもの工作

5月5日(月・祝)11:00~14:00

アイロンビーズ(シマエナガ)やポンポン(オジロワシ)、立体ぬりえや生きもの折り紙などを作って、ウトナイ湖に生息する生きものを楽しく学びます。

- 定員:先着 30名
- 申込:不要。直接当センターへ。
- 対象:どなたでも
(小学生以下保護者同伴)



ウトナイ湖・春の渡り鳥 DAY

5/6(火・祝)開催

ボランティアミニガイドやネイチャーフォトラリーなど、詳細はウトナイ湖通信5月号にてお知らせします。

◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市植苗 156-26 / 道の駅となり

開館時間:午前 9 時~午後 5 時 / 入館無料

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター

検索

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ラムートくん



~ ウトナイ湖 ~

・国指定鳥獣保護区特別保護地区
・ラムサール条約湿地
・東アジア・オーストラリア地域
・フライウェイ・パートナーシップ

傷病鳥獣ルームから

当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。



ツグミ

体重 56 g



左翼を負傷

診察時の様子



ケージ内での様子

2月22日



2月26日



原因：人工物への衝突疑い

朝6:00頃、市内住民宅の庭で飛べずにいたところを保護され、11:00頃、当センターに搬入される。

初診では、左翼に外傷を確認。また、呼吸時の異常音から、呼吸器の損傷も疑われた。

その後の検査で、上腕骨の骨折が認められた。根治困難として終生飼養の可能性が高いが、経過観察中。

食欲もあり容態は安定。

経過観察中

ツグミ (スズメ目 ヒタキ科)

全長24cm。平地から低山の森林に生息し、北海道では冬鳥または旅鳥として、渡来します。渡来数は年変動があり、多い年では100羽以上の群れをなすこともあります。農耕地や林内では、ミミズや昆虫の幼虫などを捕食したり、街路樹などの樹木の実を食べる姿を観察することができます。

トピックス



毛糸のポンポンでオオワシづくりに挑戦

今年度はオオハクチョウ、シマエナガ、オジロワシを作り、4回目となる今回は冬の使者のオオワシづくりに挑戦いただきました。毛糸の巻き方だけではなく、目やくちばしをつける位置によっても表情などが変わり、個性あふれるオオワシが完成しました。



水辺の渡り鳥ウォッチング

北へ渡る途中にウトナイ湖へ飛来した水鳥の観察会を行ないました。望遠鏡をのぞきながらヒシクイとマガンの違いを見比べたり、上空を飛んでいくV字編隊の群れなどが観察でき、参加者からは「楽しい時間を過ごせた」「鳥のことなど勉強になった」といった声が聞かれました。



ボランティアコーナー

当センターはボランティアの皆さんに支えられています。

2024年度下半期（10月～3月）は16名のボランティアの皆さんにご協力いただき、イベント、観察会、調査などの活動を21回、研修会を2回行ないました。



ウトナイ湖 お楽しみコーナー 【ウトナイ湖・クイズ】

ウグイスは「ホーホケキョ」というさえずり以外にも「キョキョ・・・ケキョケキョケキョ・・・」という鳴き声も出します。こちらの鳴き声は通称何と呼ばれているでしょうか？

- A. 谷渡り
- B. 峠越え
- C. 枝移り
- D. 花吹雪

※ 答えは最後のページにあります。



公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



facebook



X(旧 Twitter)



レンジャーのおすすめ自然情報



【ウグイス】

「ホーホケキョ」とさえずる夏鳥。例年4月上～中旬頃から見られる。観察路そばで鳴いていることがある。



【アオジ】

「チョッピンチーチュルリッ」とさえずる夏鳥。例年4月中～下旬頃から見られる。地面近くにいることが多い。



【アキタブキ】

アキタブキの特につぼみの時の花茎のことをフキノトウと言う。当センター周辺でもよく見られる。春を代表する花の一つ。



【ナニワズ】

例年4月上旬頃から黄色い花を咲かせる落葉低木。観察路脇で見られる。ウトナイ湖の春を代表する花の一つ。

雪がとけ、植物も芽吹きはじめる4月。1年中いる留鳥に、越冬地から渡ってきた「夏鳥」も加わります。野鳥たちは繁殖期を迎え、主にオスがメスへのアピールやなわばりの主張のために「さえずり」という声で鳴くようになります。この美しい声にも耳を澄ませてみてはいかがでしょうか。当センターには野鳥の鳴き声を聞くことができるコーナーもありますので、聞こえた「さえずり」がどの野鳥なのか、ぜひ探してみてください。



ウトナイ湖で自然観察を楽しもう♪

最新自然情報や、自然観察路マップはこちらから



Instagram



facebook



X(旧 Twitter)

自然観察路ガイドマップ【春】

